

学校評議員会 議事録

校名	大阪府立水都国際中・高等学校
校長名	太田 晃介

開催日時	令和 6年 12月 11日(水)18:00 ~ 19:00
開催場所	大阪府立水都国際高等学校(新校舎)2階会議室
出席者(委員)	菅野正嗣、鉄谷明、林明子、能登左知、福井崇之
出席者(学校)	太田晃介、ジョンボディング、佐藤吾朗、大山達也、小西雄希
傍聴者	なし
意見聴取に係る資料	資料1～資料4
備考	

議題等(次第順)	
<p>1. 校長挨拶</p> <p>2. 第一回学校評議員会議事録確認</p> <p>3. 令和6年度学校経営計画中間報告(中学校・高等学校)</p> <p>4. 今後の予定確認</p> <p>5. 副校長挨拶・閉会</p>	
<p>1. 学校説明(太田)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、保護者組織を検討する会を保護者とともにやっている。校則の見直し「水都らしい」という箇所を明文化する作業を保護者・生徒と共に行っていきたい。</li> </ul> <p>2. 第一回学校評議員会議事録確認(小西)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料2に基づき議事録の確認を行った。</li> </ul> <p>3. 令和6年度学校経営計画中間報告</p> <p>○中学校報告(大山)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生をロールモデルとしながら探究に取組み、多数コンテストに出場している。</li> <li>受賞としては、水の作文コンテスト、国際理解作文コンテスト、中学校英語教育研究会が主だった受賞となる。</li> <li>キャリアガイダンスでは、元JICA職員の教諭による国際機関で働く事について講義をしたり、オーストラリア留学セミナーをオーストラリア領事館を招いて実施する等積極的に海外のキャリアについて共有を行った。</li> <li>国際交流に関しては、マレーシアの学校にオンライン交流を行い、それぞれの文化紹介等を行った。</li> <li>英語の取組についてはIELTSの代表の方に来校していただき、その対策について講義を受けるなどを行った。</li> <li>生徒指導の視点では有志ではありますが、ソーラン節のメチャハッピー祭りに61名が参加し、特別賞を受賞した。</li> <li>今までは学校行事の委員会だけだったものを、今年度からは生徒議會を組織し生徒全体の意見を反映できる仕組みを構築した。</li> <li>生徒の悩み等を相談しやすい体制を構築するために「いじめの発見について」「LGBTQ」「セクシャルハラスメント」等のテーマで教員研修を実施した。</li> </ul> <p>○高校報告(佐藤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学1年生から在席する1期生が卒業する年度で進路に注目が集まっている。</li> <li>多くの生徒が総合型選抜を利用して進学を志すので、活動・書類・面接指導に対して教員の体制の教科を行っている。</li> <li>年度末にIB査察があるので保護者の声を受け取るコミュニケーションの改善も行い、IB理解についても促すように取組んでいる。</li> <li>英語教育に関しては高校1年生が入学時にはCEFR B1レベルが30%ではあるが、11月には60%まで向上する結果となっている。</li> <li>生徒指導関連では教育相談ケース会議を開催し、いじめ認知件数を上げる形で取組を行っている。</li> <li>安全な学校作りとしては今年に入りニュートラムが2度、登校時刻に止まる事があったので、今後対応マニュアルを整えていく。</li> <li>教員の働き方改革としては毎週金曜日を定時退庁日と定め推進している。</li> <li>教員不足の中、採用強化と共に魅力ある学校作りを進め、特に探究に力を注ぎ取組をしている。(今年に入り51件の視察があった)</li> </ul> <p>○学校評議員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IB校が増えているので、連携および切磋琢磨を行っていてもいい。</li> <li>保護者検討会の開催など保護者への歩み寄りがある点で評価できる。</li> <li>子どもとのコミュニケーションが少なく、大学進学など情報が欲しい親が多数存在するので引き続きコミュニケーションを学校通信などで発信してもらいたい。</li> <li>また保護者向けの進路説明会も引き続き充実してもらいたい。</li> <li>子どもの対峙に疲れしている親もあり、外との繋がりを求めている親もあるので繋がりを創出できる活動の検討も行ってほしい。</li> <li>高校から入学した生徒がグループワーク・プレゼンの多さに驚きを感じている。また課題やテストが多いと感じている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→(学校からの回答)探究力と基礎学力の育成に関しては、個人に応じた形での比重を考える取組みを各教科で実施し、サポート体制を作っていく。</li> </ul> </li> <li>ATCでは異業種がテナントとして入っているので発表や協働の場として引き続き活用いただきたい。今年はチャリティを考える会として生徒たちからアプローチがあった。</li> <li>咲洲みなみ小中一貫校との連携では、英語とプログラミングを通して生徒交流が回る事ができた。</li> <li>英語の楽しさを伝える取組や探究型の子供たちが主体的に学びを進める取組みなどを今後、協働していきたい。</li> <li>万博においては通学経路である地下鉄の混雑具合等、共に情報共有しながら対策を考えたいと考える。</li> <li>学校の平均年齢が37.3歳というのは他校と比べてどうか→(学校からの回答)他と比べると高い方であり、インターナショナル教員がミドルの方が多いため平均年齢が上がっている。</li> <li>海外留学の課題として、経済的要因が大きいという事だが、YMCAを利用し、水都独自の奨学金基金を募り、奨学金給付の基準づくりをした上で給付等ができないのか。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→(学校からの回答)確認します。</li> </ul> </li> </ul> <p>4. 予定の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次回の評議員会は3月頃の予定</li> <li>アカデミックフェアが2月8日に実施</li> </ul> <p>5. 閉会</p> <p>ジョンボディング副校長より閉会の挨拶を行った。</p>	

次回の会議日程	
日時	令和7年 3月(未定)
会場	大阪府水都国際中学校・高等学校(新校舎) 2階会議室